

2025 [学校案内]

未来の扉を開く



学校法人 滝中学校
滝学園

〒483-8418 愛知県江南市東野町米野1番地
TEL.0587-56-2127 FAX.0587-56-1732
<https://www.taki-hj.ac.jp>



TAKI



学校法人 滝学園

滝中学校

JUNIOR HIGH SCHOOL



TAKI

JUNIOR HIGH SCHOOL

学校法人 滝学園

滝中学校

CONTENTS

- 01 建学の精神
- 02 校長のあいさつ
- 03 教育目標
- 05 滝学園の学び
 - 05 中高一貫教育
 - 07 滝学
 - 09 新しい学力観
 - 11 グローバル人材の育成
 - 13 土曜講座
 - 15 滝教育研究所
- 17 進路指導
- 18 活躍する卒業生
- 21 学校行事
- 23 クラブ活動
- 25 施設・環境
- 26 アクセス
- 27 インフォメーション
- 29 創立100周年に向けて

未来の扉を開く。



受け継がれた建学の精神を新しい未来の礎に

滝学園は、明治から昭和にかけて実業家として成功を収めた滝信四郎が、「自分を育ててくれた故郷から将来大いに活躍するであろう青少年を育てることこそ最大の恩返しである」と考え、「質実剛健」「勤勉力行」「報恩感謝」を建学の精神として設立しました。創立者のこの精神を私達は以下の教育理念と教育目標に発展継承しています。

質実剛健

「実」のある豊かな人生を結実させるためには、人格的にも知的にも中身の充実した質の高い人間性が求められる。そのためには、強く柔軟な精神力と、健康で健全な身体が必要である。

勤勉力行

高い理想に向かって、強い意志を固め、ひたむきにかつ貪欲に努力を続ける行動力のある人間が求められる。

報恩感謝

社会の発展が個人の幸福を保障し、個人の向上が社会の発展に貢献する。人間と人間とのつながりを大切に、人々のために努力する感性豊かな人間が求められる。



校長あいさつ

滝学園は、滝信四郎先生の「若者の教育を支援することで、故郷への恩返しをしたい。」という社会貢献の想いから創設されました。良き教職員、良き生徒・卒業生にも恵まれ、時代の流れの先取りを意識して進化し、100年近く伝統を築いてきております。現在、海外の日本人学校を含め広い地域からの新入生を迎え、卒業生は世界中で活躍をしています。

今後とも、高い教育水準と良好な教育環境を維持し良き伝統を堅持しつつ、先の時代を考えた教育を模索し、将来様々な世界で活躍する生徒を社会へ送り出すことが、創設者の想いの継承であり、滝学園としての社会貢献と考えております。

将来各界で活躍するであろう、意欲のある若い皆さんの期待に応えるべく尽力してまいります。



滝中学校

校長 高瀬 裕隆

〔教育目標〕

EDUCATIONAL GOALS

私たちは、
生徒一人ひとりと真摯に向き合い、
総合力に秀で、多様性に対する
寛容な姿勢を身につけた
魅力ある生徒の育成を目指します。

1 「知力」「体力」「教養」のバランスのとれた生徒の育成を目指す。

2 それぞれの夢の実現にふさわしい志望大学に合格するだけでなく、
その先に生きる確かな学力を身につけた生徒の育成を目指す。

3 自己の社会的責任を自覚し、周囲に対する優しさを持って、
それぞれが歩むネットワークの中で、
かけがえのない役割を果たす生徒の育成を目指す。



深める教育

昨今、教育界にも教育のICT化をはじめ大きな変化が起きています。その柱は「新しい学力観」と「グローバル人材の育成」です。この2本の柱は、いずれも確かな「基礎学力」に裏打ちされた「専門」の力と深い「教養」を必要としています。私たちはその2本の柱を意識しつつ、日々の授業・学校行事を展開していきます。

広げる教育

私たちは、10数年前からT型人間、つまり「一」がジェネラリスト、「|」がスペシャリストの2つの力をもつ生徒の育成に努めてきました。現在では、「|」を2本に増やした π 型人間、つまりスペシャリストとしてグローバル・マインドとローカル・マインドを備えた人材の育成を目指しています。

これからは、さらに「一」を2本に増やした“元”型人間、つまり確かな学力を持った、“元気”な生徒の育成を目指していきます。

支える教育

人間は不完全であり、弱い存在です。まして中高生はなおさらです。つまずいたり、悩んだりしたときこそ友人や教師がそばに立ち、自らの“不完全”さを自覚する力に目覚め、そこから新たにスタートできる体制（教育相談、進路相談、面談週間）を整えています。



学びがつながる6年間

中学校・高等学校の6年間は、生徒一人ひとりが子どもから大人へと大きく変貌していく時期。そして、自らの可能性を現実のものにするためのスタートの時期と言えます。この人生の中でもっとも貴重な時間をより有意義なものにするために、滝学園は中高6年一貫による教育環境を提供しています。

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目 標	基本的な生活習慣を確立し、体力の増強をはかる。自学自習の力を身につけ、基礎学力を養う。		将来に目を向けて、自己の志望を明確化する。広い視野を養い、学力の伸長をはかる。		模擬試験に積極的に参加し、応用力を養う。	
授 業 内 容	主要教科は十分な時間をかけてじっくり学習する。授業においては小テストを繰り返すことなどによって基本的な知識を確実なものとする。		高校受験のために立ち止まることなく、中学3年から積極的に高校の学習内容に踏み込み、効率的に学習を進める。		英語・数学・国語については、教科書レベルの学習をこの学年で終了する。	
学 級 編 成	ホームルーム(HR)・授業とも均等にクラスを編成する。クラスの編成替えは毎年行う。			HRは均等に編成する。授業は習熟度別クラスを編成する。		志望に従って文系・理系に分かれ、それぞれでHRを編成する。授業は習熟度別クラスを編成する。

中学校3年間の教育の特色

授業体制

通常授業を50分・週33時間〔週5日制〕で実施。これに7月末の体験型授業と、8月末および12月末に計10日間の通常授業を行うことで十分な授業時間を確保しています。授業はすべてHRで行い、3年生からは一部の授業で高校の内容を前倒して行っています。

学習指導

英語・数学・国語を中心に各教科に十分な授業時間を配分し、授業中の小テストなども実施して基礎学力の定着を図っています。また、生徒一人ひとりを良く知ったうえで指導できるよう、担任が定期的に面談を行っています。

体験型授業

1学期・最後(7月末)に、体験型授業として中1では英語のコミュニケーションプログラム、中2では校外体験活動を3日間実施。中3では5日間にわたり英語のグローバルスタディーズプログラムを実施。共同・協働の学びを行います。

火曜学習会

〔フォローアップの補習授業〕

定期考査の結果から、学習到達度・理解が不十分であると考えられる生徒に対して行われる補習授業で、火曜日の放課後から下校時刻まで実施しています。教科は英語と数学。各定期考査後に対象となる生徒を指名し、次の定期考査までの間はクラブ活動に優先して授業を受けていただきます。少人数で行われるため質問などもしやすい雰囲気となっています。この学習会の他、宿題などの課題提出が滞っている生徒に対しては、教科の担当教員が放課後に指導することもあります。

高校3年間の教育の特色

授業体制

通常授業を50分・週33時間〔週5日制〕で実施。これに7月末と8月末、そして12月末に計15日間の通常授業を行うことで十分な授業時間を確保しています。

高校1年生は均等のHRを編成します。授業は英語・数学・古文・漢文を習熟度別クラスで、他の教科は原則としてHRで行います。高校2年生からは文系・理系に分かれ、それぞれでHRを編成します。授業は英語・数学・古文・漢文〔理系は化学も〕を習熟度別クラスで、地歴・公民・物理・生物は選択クラスで、他の教科は原則としてHRで行います。高校3年生からは公立中学校等出身者と合流したうえで、理Iコース〔理・工・農系志望者コース〕、理IIコース〔医・歯・薬系志望者コース〕、文系コースの3コースに分かれ、それぞれでHRを編成します。授業は習熟度別クラスと選択クラスで行います。



学習指導

十分に確保された授業時間と精選された教材を使って難関大学・学部の入試に対応できる学力を養成しています。また、生徒一人ひとりの学習状況や進路希望を把握したうえで指導できるよう、定期的に面談を実施しています。

朝の小テスト・課題テスト

朝のSHR前の10分間を利用して、週に1～2回、英単語や古文単語等の小テストを行い、基礎知識の定着を図っています。教科によっては、定期考査の中間期に50分間の課題テストを実施しています。

入試攻略授業

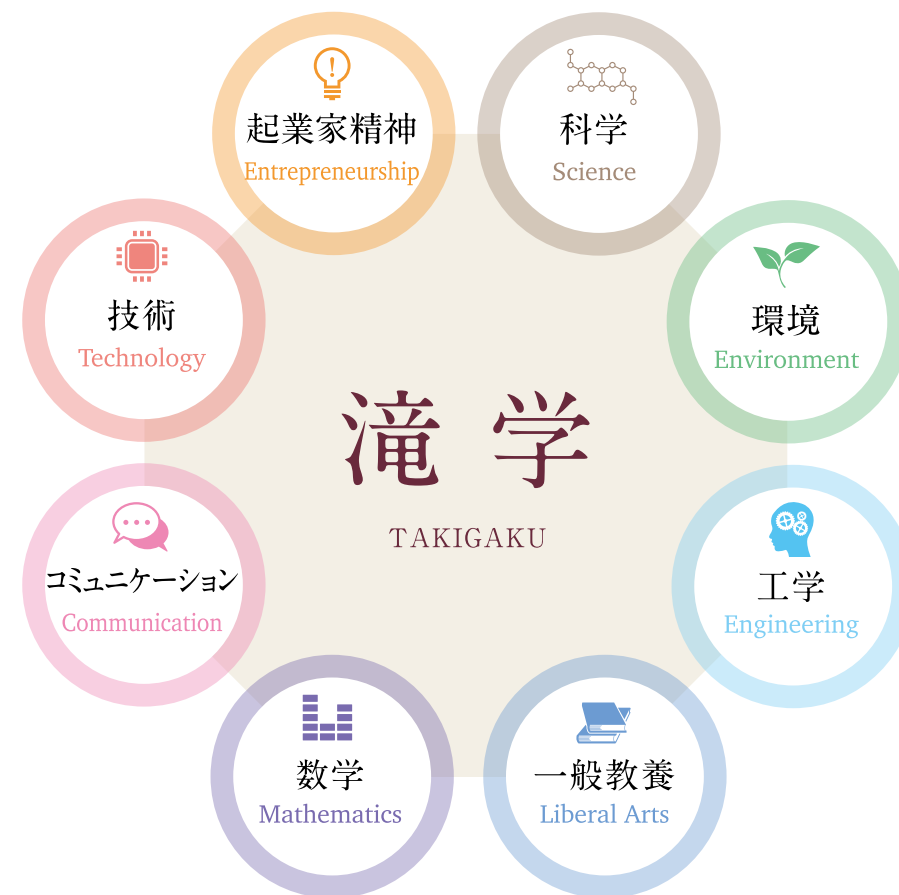
入試問題の攻略方法を授業内で解説する入試攻略授業を行います。夏期に志望する大学の過去問等を解き受験への意識を高め、冬期に受験する大学の過去問等の攻略を実践しながら、同じ大学を受験する集団を意識し、ともに最後まで戦い抜く仲間意識も高めていきます。

オープン講座

通常授業の放課後に、通常授業では取り上げにくい分野別・大学別の授業を希望制で行います。自学自習の姿勢や「深く」「広い」学力養成につながると考えています。

生徒参加型の授業 「滝学」

生徒自らが考え、発信することに重点を置いたアクティブラーニング授業では、科学技術関連の教科から環境教育、建学の精神などさまざまな分野から独自のテーマを設定します。創立100周年を間近に控えた滝学園の新たな取り組みです。



TAKIGAKU

生徒主体の 学び

将来に役立つ さまざまな力を磨きます

「滝学」は、科学、技術、工学と数学等の教科の横断的教育（一般的にSTEM教育と呼ばれる）に加え、自分の考えを言語化する経験を与えること、起業家・実業家精神を養うこと、環境意識を高めることも目指します。生徒が自ら考え、意見をつくり、発信していくことに重点を置いた、生徒中心の参加型の形式で行います。学年や時期にふさわしい課題を扱い、適宜、学園にかかわる内容も題材としながら、滝に学ぶ生徒として大切にしたい心構えや将来に役立つ力を身につけてもらうことを目指します。

創立100周年を間近に控え、創立者滝信四郎先生の思いや、滝富夫理事長の考えや姿勢に

ついて具体的に学ぶことを手始めとし、学年に応じて、課題発見力、考察力、表現力等を磨きながら、自己発見や自己肯定感の醸成につなげ、未来を生きる糧を与えるため、改めてまとめたものが「滝学」です。



学校法人 滝学園
副理事長

滝 祥夫
（創立者の曾孫）

21世紀に求められる 力の獲得に向けた学び

新しい大学入試に向けては、文部科学省から次ページのⅠ・Ⅱ・Ⅲの観点が示されました。

この観点に基づいた教育が求められるとともに、「大学入学共通テスト」が実施されています。

滝学園では、こうした新しい動きに対する施策に、積極的に取り組んでいます。

新しい観点

Ⅰ 基礎的な知識および技能を獲得させること。

滝学園の取り組み

今までの滝学園の経験を発展させ、すべての生徒に「基礎学力の今まで以上の定着」を目指します。（「鍛える教育」）英語4技能対策として、GTECや英検などの外部検定試験を積極的に利用します。



Ⅱ これからの時代に社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を育成すること。

滝学園の取り組み

中1では英語のコミュニケーションプログラム、中2では自然体験学習、中3では英語のグローバルスタディーズプログラムを実施します。
「土曜講座」というフィールドを十分に活用して教養に裏付けられた専門性を深めていきます。（「深める教育」）



Ⅲ 「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育成すること。

滝学園の取り組み

クラブ活動の質の向上と各種大会への挑戦を通じて、アカデミックスキルを体得するように努めます。中3での卒業論文は、神戸大学大学院人文学研究科と連携して質の高い論文作成を目指しています。



滝学園のICT活用と、その実践事例

次世代の学校・教育現場には、

◇学びにおける時間と距離の制約を取り払う

〔遠隔・オンライン教育〕

◇個別に最適で効果的な学びや支援のプロジェクト型学習を通じて創造性を育む〔教養とSTEAM教育〕

◇校務の効率化

◇学びの知見の共有や育成

などが、ICT環境のもとで保証される必要があります。

〈文科省・総務省・経産省等の通達〉

滝学園においても、これらの動きに先立ち、まずネットワークの再構築を2019年の夏に行いました。それは、文科省の「GIGAスクール構想の実現標準仕様書」をクリアしたものになっています。全教室に65インチ型モニターを常設し、「みらスク」を利用して電子掲示板、ライブ配信、PCやタブレットのミラーリングをし、生徒への視覚教材ツールとしての活用をしています。

また、生徒・教員とも日常的にiPadを利用し「ロイロノート」「Teams」「OneNote」などのアプリを利用し、生徒と先生の情報共有を行っています。



「教育のグローバル化・ボーダレス化」と「海外研修」

私たちが今日置かれている社会は「グローバル社会」というよりも「ボーダレス社会」であると考えられ、日本のどこにいても海外の人との交流を求められます。この「ボーダレス社会」を生き抜く覚悟と力を育成したいと考えています。「ボーダレス社会」に対応できる人材育成の場は身近にも多くありますが、より海外の人々と触れ合う機会を求め本校独自のプログラムを提供します。

滝学園の考えるグローバル人材

社会の「グローバル化」にともない、教育の世界でも「グローバル人材の育成」ということがさかんに言われています。

「グローバル人材」とは、単に「英語が話せる」「海外生活の経験がある」といった人材を意味しません。

滝学園は次に示した力を備えた人をグローバル人材と位置づけ、「新しい学力観」に基づいた教育により「グローバル人材の育成」を図ります。



GLOBAL HUMAN RESOURCES

TOUGHNESS

困難に直面してもあきらめず最後まで課題解決のために努力を続けることができる強靭さを持っている人。

COURAGE

未知の分野・世界に好奇心を持って飛び込んでいける勇気と行動力を持っている人。

COMMUNICATION SKILLS

他者との協働のために、自身の考えを述べ、相手の考えに心を開くことができる人。
そのための言語力（日本語・英語）を持っている人。

コミュニケーション能力の礎のために「体験活動を通して」

コミュニケーションには、言葉によるものや、言葉によらないものなど、いろいろな形のものがあります。

その中心にあるのは、「伝え合いたいと思う心」であると考えています。

その心を大切に育てられるよう、体験学習として、以下の様なプログラムを実施しています。

コミュニケーションプログラム(中1)

コミュニケーションをとるとき、つい言葉に詰まってしまうなど、話すことに勇気が必要となることがあります。そういった場合の見えない心の壁のようなものを取り去ってあげたい、そして、伝え合うことの楽しさを味わってもらいたいと考えています。

小学校での英語の授業や、入学後の学習ペースに乗り切れていない生徒さんにも、ツールとして英語を使う楽しさを体験してもらえるように工夫しており、復習や新たな学習のきっかけになるはずです。

プログラムの形態

ホームルームクラスを2分割した20名程度のグループでのネイティブ教師によるレッスン。1日5コマで3日間。

グローバルスタディーズプログラム(中3)

英語の基礎を固め、社会の仕組みを学びつつあるこの時期に、小グループでの意見交換を中心に活動をすすめます。その際、多様性に理解を深め、また、自己肯定感を高め、ポジティブシンキングを育てるようにしています。

活動中に、"Don't be afraid of making mistakes."という掛け声があちらこちらから聞こえてきます。英語漬けの5日間を過ごす中、英語で話すことへの抵抗を減らし、それぞれの生徒は各自のプレゼンテーションでプログラムを締めくくってくれます。

プログラムの形態

各クラス、ファシリテーターによる指導の下、6名程度が1グループとなり、留学生1名がグループリーダーとして活動をリード。1日5コマで5日間。

海外研修

※訪問地、人数などは変更されることがあります。

カナダ研修 (中3)

●中3:3学期卒業式後、原則8日間、希望者から20名、自己負担

本学園の職員が交流校を選び、オリジナルのプログラムを組み実施しています。本校の生徒が、バディーと1対1となるよう配置し、いろいろなアクティビティーに取り組み、草の根レベルで多文化主義、環境や福祉への取り組みを学んでもらうことを目指しています。



アメリカ研修(高1)

●高1:夏休み中、原則10日間、希望者から最大40名、自己負担

ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学(MIT)の見学に始まり、講義や、現地で実際に学ぶ学生からの話を聞くことは、将来を考える上で役立つことと思います。グローバル社会で活躍するために必要と考えられている考え方や技術を身につけられるような英語研修も含んでいます。



コロムビア大学

イギリス研修(高2)

●高2:夏休み中、原則10日間、高2生希望者から5名を選抜、自己負担金10万円の他は卒業生・同窓会から補助を受け、UCL-Japan Youth Challengeに参加

日本各地から高校生がロンドンに集まり、現地生徒・学生との意見交換を中心とした交流を行います。

University College Londonの教授陣による講義、世界で活躍する日本人(本学園卒業生も含む)との対話イベント、ロンドン市内研修など有意義なイベントで盛りだくさんです。



グアム修学旅行(高2)

●高2:12月中、3泊4日

グアム修学旅行では「異文化交流」の重要性を体験し、新しい気づきや価値観への理解を深めます。そのために、現地の学生との交流の場を設けます。

また、グアムの伝統文化であるチャモロ文化にふれる様々な体験活動も行います。さらに、グアムには過去の戦争の戦跡も数多く残されています。平和な未来を作るために何ができるかを学ぶことも、目的としています。



未来の扉を開く鍵

滝学園では、通常は授業の行われない土曜日を有効に活用し、生徒の皆さんの知的好奇心や教養を高めるとともに、普段の授業のバックアップや応用力の育成を目指して、土曜講座を実施しています。

土曜講座記念講演会の講師

新入生、在校生、保護者の方々に土曜講座をよく知っていただく機会となるよう、毎年4月に記念講演会を開催しています。講師にはノーベル賞受賞者をはじめ、各界で活躍されている著名人をお迎えします。

〔過去「土曜講座記念講演会」の講師〕

ジェローム・フリードマン 氏	マサチューセッツ工科大学 (1990年ノーベル物理学賞受賞)	秋山 仁 氏	数学者	養老 孟司 氏	東京大学名誉教授
宮川 繁 氏	マサチューセッツ工科大学	大谷 貴子 氏	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長	丹羽 宇一郎 氏	日中友好協会会長・ グローバルビジネス学会会長
梅原 猛 氏	哲学者	渡辺 興亜 氏	第29次、35次南極地域観測隊長 明治大学教授 早稲田大学教授	天野 浩 氏	名古屋大学教授 (2014年ノーベル物理学賞受賞)
李 遠哲 氏	元台湾中央研究院院長 (1986年ノーベル化学賞受賞)	斎藤 孝 氏	明治大学教授	前刀 禎明 氏	ダイアモンド株式会社 代表取締役CEO & CWO (滝高等学校第26回卒業生)
C.W. ニコル 氏	作家	池田 清彦 氏	早稲田大学教授	森島 邦博 氏	名古屋大学大学院理学研究科 准教授(素粒子物理学) (滝高等学校第47回卒業生)
鎌田 實 氏	諏訪中央病院名誉院長	森永 卓郎 氏	獨協大学教授	岸 博幸 氏	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
池田 香代子 氏	翻訳家	小柴 昌俊 氏	東京大学特別栄誉教授 (2002年ノーベル物理学賞受賞)	渡辺 安虎 氏	東京大学大学院経済学研究科教授 (滝高等学校第42回卒業生)

学習講座

「グローバル社会」で活躍するためには、その前提として基礎となる確かな学力を身につけておく必要があります。普段の授業をしっかりと理解して、学力を高めてもらうことがまず第一に大切なことです。土曜講座では、各生徒の弱点を補うための基礎レベルの講座や、プラスαの高度な内容を探求するハイレベルな講座などが開講されます。「学習講座」を通じて、基礎力や応用力を高めたり、大学入試への対策を行うことができます。



英語講座
「名大英語を研究しよう」



数学講座
「東大理類合格者がいつかどこかで学ぶ
数学で使う考え方」



国語講座
「古典文法弱点撲滅講座」



「囲碁講座」



「1 DAY フローリスト講座」



「燃えろ受験生！バレーボール編」

教養講座

将来、社会のリーダーとして活躍するにあたり、自分が就いている仕事の分野に関する知識・専門性が求められるのは当然ですが、幅広い教養も必要とされます。幅広い教養は、世の中の動きを理解し、新たな発想を生み出し、的確な判断をするのに役立つだけでなく、人間的な魅力にも繋がります。「教養講座」で様々な世界に触れ、普段の授業だけでは得がたい経験を積んでもらいたいと考えています。本校教職員以外にも、大学の先生や様々な職業の方、卒業生を招いて開講しています。時には、在校生が講師になって講座を開くこともあります。



「難病の新しい薬開発を目指して
～薬学部教授の挑戦～」



「宇宙ロケットのお話」



「税理士と考える皆さんの未来
～日本の財政と年金の視点から～」



「いまを生きるための力を養う」



「誰でも参加できる和太鼓講座」



「日常に役立つ心理学」



「進路選択に海外は？」



「哲学対話(P for C)をやってみよう!」



「弁護士＆裁判官のお仕事」



株式会社 滝教育研究所
〒483-8275 江南市古知野町久保見194
電話：0587-58-6310 FAX：0587-58-6311
https://www.takied.jp/

学ぶ意欲を導きクラブ活動を支える施設

創立90周年を機に、若い教職員で作り上げた100周年への道標が「滝2026年への羅針盤」です。

その中で、「学校には文科省からの『縛り』と学園自らの『縛り』の両方があり、それは学校という組織においては必要不可欠であるが、もっと自由に、後期中等教育の教育や研究をパイロット的に実践して、それを滝学園の教育にフィードバックする滝学園の付属研究機関（滝教育研究所）が必要」と謳っています。

この主旨に賛同していただいた学園関係者により「滝教育研究所」が開設されました。この研究所は滝学園の教育をさまざまな視点から評価・点検していただき、学園の教育活動の力強い協力機関となると考えています。

滝教育研究所は、学校が終わった後、「もっと教えたい先生」と「もっと教えてほしい生徒」が出会い、さらに深い教育・研究をしていくことを目的としています。

自習室、自主ゼミ室を設置し、土曜、日曜、さらに長期の休み中も開放します。このことは多くの生徒達や保護者の皆様が望まれていたことだと考えています。

また、学校休業日のクラブ活動について滝学園から業務委託を受け、学校休業日の活動を可能にしています。具体的な指導・試合参加などについては多くを滝学園のクラブ顧問の先生方にお願いしています。



研究所からのあいさつ

滝学園では2016年、90周年事業の一環として、「滝2026年への羅針盤」が策定されました。この羅針盤には、今後の滝学園の目指す教育が示されています。この羅針盤に基づき、2016年の9月に株式会社滝教育研究所を設立いたしました。

私立大学では株式会社を持ち、その中で関連事業を行っていくというケースが多くあるようです。しかし、中学校高等学校においては、このようなケースは珍しく、まさに他に先駆けた画期的なことであると思います。

講師の先生方におかれましては、授業、クラブ指導、生活指導、進学指導等々で本当に忙しい毎日であると拝察いたします。そんな忙しい中に

あって、さらに御負担をおかけしてしまうことは誠に恐縮に存じております。また、その熱意が本当に有り難く、敬意を表します。

講座・クラブ活動について滝学園の先生方のご協力に感謝し、さらなる教育活動の充実を進めていく所存です。「滝2026年への羅針盤」が実現し、滝学園が将来に向けてますます充実、成長、発展されていくことの一翼を担ってまいります。

初代 代表取締役 社長
(元滝高等学校PTA会長)

滝教育研究所

所長
田中 秀幸
(本校OB)

講座部門 自ら学ぶ姿勢を掘り起こして、それを持続できる環境のもとで以下の講義を提供します。

- 滝学園の生徒のみに提供される講義
- アカデミックな授業、ディスカッションが展開される講義
- 志望大学に見合った「基礎学力定着」のための講義
- セミナー室、自習室の提供

例 | 高校と大学の接続研究機能、成績中位下位対策研究機能、英語教育研究、自習室・自主ゼミ機能、日本文化の「伝達」講座

公開活動部門 滝学園の教育のリソースを生かした、地域への公開講座の実施

例 | 文化財ツアー、幼稚園・保育園ツアー、円周率クイズ、ピラミッド

クラブ活動部門 学校休業日などのクラブ活動の支援、コーチの採用をサポートします。

受講生の感想

「ここから始める高校数学」「現代文記述対策講座」受講

質問がやすく、分からないところは親切に教えてくださるので、意志が弱い私でも最後まで諦めずに頑張れます！

中学3年 垣内萌花さん



「ここから始める高校数学」受講

滝研の授業はすごく楽しいです。先生方の授業もとても興味深く、毎週行くのが楽しみです。皆さんにすすめできます！

中学3年 尾崎仁伊奈さん



「数学ⅠAⅡB演習」「物理」受講

授業でのインプットをアウトプットにつなげることができ、知識、テクニックともに定着していると実感できます。

高校1年 深尾健佑さん



「トップレベル英語」「レベル高めの数学」「ひたすら名大現代文」受講

授業からは学べないような数学の問題へのアプローチの仕方が学べます。一時間半があつという間に過ぎてしまうほど濃い内容です。

高校2年 尾関瞭汰さん



CAREER SUPPORT

6年後を見据えたサポート

滝学園では、生徒の志望を第一に考えた進路決定を多角的にサポート。学年・担任・進路学習指導部を中心に、保護者の皆様との連携のもと、文系・理系の選択から学部・学科の選択、さらに志望大学の選定までの指導を行います。

その結果、生徒の多くが東京大学・京都大学、国公立大学の医学部医学科、さらに地元の名古屋大学など難関とされる大学・学部への進学を目指しています。

サポート体制

1 模試の分析と面談

本校では6年の間に多くの模擬試験を受けます。模試を受ける目的は、その時点での自分の学力を全国の中学生・高校生との比較で知ること、自分の弱点科目・教科・分野を知りそれを強化していくことにあります。

本校では、模試受験後の指導として、その結果や指導方針などを学年・進路学習指導部で分析・検討し、生徒との面談を行います。

2 個別の大学情報

少子化の問題やグローバル化などの影響を受け、大学入試にも大きな変化が起きようとしています。

本校では、こうした状況に対応できるように的確な情報収集を常に心がけています。得られた情報は、適切な時期に適切な方法で生徒や保護者の皆様にお伝えします。

3 講演会

本校では、土曜講座記念講演会をはじめ進路学習指導部が企画する進路講演会などに、大学の先生や実業界で活躍されている方など多くの著名な方をお招きしています。

これらの講演会は、生徒自身が各自の興味関心の枠を広げ、「学び方・将来の生き方」を考えることを通じて進路決定につながるものと位置付けています。

また、諸々の分野で活躍している本校のOG・OBを招いてキャリア教育にも取り組んでいます。



ALUMNI INTERVIEWS

活躍する卒業生

滝学園で学び、豊かな人間性を身につけた先輩たちは、さまざまなフィールドで活躍しています。自分らしい道で輝く卒業生の皆さんの声をご紹介します。



明日の自分には、無限の可能性がある。

プロフィール

昭和52年 滝高等学校 普通科 卒業。
慶應義塾大学 大学院 理工学研究科 管理工学専攻修士課程 修了。
ソニー、ペイン・アンド・カンパニー、ウォルト・ディズニー、AOLなどを経て、2004年にスティーブ・ジョブズ氏から請われ、アップル米国本社マーケティング担当副社長 兼 日本法人代表取締役役に就任。
07年、株式会社リアルディアを設立。
23年にはデアワンダー株式会社を設立し、さらに新しい挑戦を開始。

01 ディアワンダー株式会社 代表取締役CEO & CWO 前刀 禎明さん

型にはまることなく、自分らしく。

滝学園の素晴らしさは環境のよさです。時計台、校舎……。あのキャンパスに通えたことは自慢です。個性豊かな先生に恵まれたことも印象に残っています。いろいろな考え方を持つ先生から、たくさんの刺激を得られたのは大きかったですね。当時を振り返ると、とにかく人と同じというのが嫌でした。「普通は」とか「常識的には」と周りから言われてきましたが、いい意味で反面教師に。型にはまることに疑問を感じていたからこそ、今のような自分になったと思っています。

常々、失敗とは新しい発見だと考えています。想定通りの結果が成功だとすれば、発見は少ない。でも失敗は想定外だから、多くの発見があるんです。これこそが学びのきっかけになり、成長できるんですよ。きちんと敷かれたレールの上で、小さくまとまらないで。悔しい失敗からの学びは大きいですから。

未来は、好奇心と創造性の先に。

ソニー、ウォルト・ディズニー、アップルなどを経て、リアルディアという会社を設立し、五感教育プログラムを手がけてきました。さらに新会社デアワンダーを設立し、情熱的に挑戦しているのは、人々がワクワクしながら学べるワンダーラーニング。そこで提唱しているのが、セルフイノベーションです。つまり、自分を革新すること。最近リリースしたアプリ「DEARWONDER+」は、プレイ、クリエイト、シェアという考え方のもと、自分を解放し、自分自身を創り、自分を超えていこうというものです。ワンダーラーニングを広めることで、一人ひとりが自分らしく生きられる。自分の可能性や夢を追求することで、未来が豊かになっていくという世の中をつくりたいと思っています。

学び続けて、今日の自分を超えていく。

僕は創業者が好きです。ソニーの井深さんや盛田さん、ウォルト・ディズニー、スティーブ・ジョブズ。常に人々の期待を超えてきた人たちを、すくなくリスペクトしています。同時に心の中でライバルだと思っています。負けたくない。彼らは何かを成し遂げて完成した人たち。僕はそこその年齢ですけど、未完成だと自覚しています。だからこそ、まだまだ未来をつくることができるんですね。これからも学び続けて、挑戦していきます。

波打つような人生をおくっていますが、何となく右肩上がり。少し下がったとしても、何年前よりも上にいるという感じで、これが、自分を超え続けるということです。みなさんには忘れないでもらいたいですね、常にチャレンジするんだという姿勢を。

令和6年度 大学入試結果

国公立大学の合格者数(現役生のみ)

令和3年度 162名
令和4年度 136名
令和5年度 173名

令和6年度 176名

難関大学の合格者数 ※既卒生を含みます。

東京大学 10名
名古屋大学 44名
京都大学 11名
早慶上智 70名

国公立大学 医学部医学科・歯学部・薬学部の合格者数
※既卒生を含みます。

68名

学部・学科	計	現役	既卒
医学部医学科	48	22	26
歯学部	7	3	4
薬学部	13	10	3

主な大学の合格者数

国公立大学

大学名	計	現役	既卒
北海道	12	9	3
東北	3	2	1
東京	10	9	1
東京工業	1	1	0
一橋	1	0	1
岐阜	25	18	7
名古屋	44	33	11
名古屋工業	15	13	2
京都	11	9	2

大学名	計	現役	既卒
大阪	6	4	2
神戸	6	5	1
九州	1	0	1
名古屋市立	31	26	5
その他	74	47	27
合計	240	176	64

私立大学(現役+既卒)

大学名	計	大学名	計
慶應義塾	29	同志社	67
上智	13	立命館	107
中央	30	関西学院	18
東京理科	42	その他	331
明治	59	合計	823
早稲田	28		
愛知医科	7		
藤田医科	23		
南山	69		



好きなことにも、
勉強にも、全力で
取り組めた。

02 京都大学 法学部 神野 諒さん(左)

令和4年 滝高等学校 卒業

在学時のエピソードをお聞かせください。

磯谷さん:神野さんは中学の頃からの友人です。長月祭がコロナの影響で中止になったときに代替企画として行った映像の自主制作では、同じチームで撮影や編集をしたことが記憶に残っています。神野さんは真面目にコツコツ取り組む人で、好きなことと頑張るべきことへの力の入れ方のバランス感覚が鋭いと思いました。

神野さん:磯谷さんは中学卒業時のPV作成を担当するなど、才能のある人です。同じ文系として受験期を戦いましたが、ある種の憧れがあり、雲の上の存在でした。現役で東京大学に合格していて、さすがだなと思いました。

当時頑張っていたことは何ですか？

磯谷さん:高校2年次の夏頃までは写真部の活動に力を入れていました。部活の時間は写真に全力で向き合うことで勉強の息抜きができていたように感じます。受験勉強では、自分に合った勉強法を見つながら生活サイクルを確立させ、その後はとにかく量をこなしました。

神野さん:中高6年間、陸上部を続けたことです。また、小さな頃から鉄道が好きなので、放課後レールウェイという有志の集まりでも活動していました。勉強面では気持ちを落ち込ませない努力をしてメンタルを保っていました。

東京大学 文科三類 磯谷 星舞さん(右)

令和4年 滝高等学校 卒業

大学生活について教えてください。

磯谷さん:心理学、医学、語学、プログラミング、地理などの勉強や、スカッシュサークルでの活動、音楽活動を行っています。

神野さん:民族舞踊研究会に所属し、世界各国の踊りを踊っています。そのほかにも、映画製作サークルと鉄道研究会に所属しています。

将来の夢や目指す人物像を教えてください。

磯谷さん:自分の好きなこと、興味があることから生み出したもので、誰かの人生を少しでも豊かにできるような人間になりたいです。

神野さん:将来の夢は鉄道関係の仕事に就くことです。また、どこに行っても人に信頼されるような人間になりたいと思っています。

滝学園で得たものは何ですか？

磯谷さん:好奇心を元に学び続ける能力です。疑問が湧いたことや気になったことをそのまま放置せず深掘りする習慣ができました。

神野さん:物事を継続してやり遂げる力です。受験に関しても、最後まで戦えたのはこの力があったからではないかと思います。

03 京都大学 経済学部経済経営学科 春日井 望実さん(左) 岐阜大学 医学部医学科 佐野 真央さん(右)

令和4年 滝高等学校 卒業

令和4年 滝高等学校 卒業

在学時のエピソードをお聞かせください。

春日井さん:佐野さんとは中学・高校の部活仲間です。ペアを組んで大会に出たこともあり、お互いなんでも話せて高め合える存在でした。

佐野さん:春日井さんとの一番の思い出はやはり部活ですが、勉強においても“私も頑張らなきゃ”と思わせてくれました。今も将来のために勉強を頑張っていると聞いて、励みにしています。

当時頑張っていたことは何ですか？

春日井さん:ソフトテニス部の活動を頑張っていました。部活と勉強の両立は体力が鍛えたので、休みたい時はしっかり休んで、メリハリをつけて勉強することを意識していました。

佐野さん:部活と勉強です。部活では県大会に出るという目標に向けて頑張っていました。勉強では、小テストなどでも良い点数を取ることを心がけていました。岐阜からの通学でしたが、部活も勉強も両立できました。

現在取り組んでいることはありますか？

春日井さん:公認会計士を目指して勉強をしています。将来は公認会計士の資格を取って独立し、企業経営に携わりたいと思っています。

佐野さん:勉強はもちろん、部活とアルバイトも頑張っています。将来は、地域医療など人と密に接することのできる医療をしたいです。

滝学園で得たものは何ですか？

また、滝学園のいいところを教えてください。

春日井さん:滝学園は講座やテスト、課題などが多く、それによって知識が定着していたので、今も勉強する時はアウトプットを大切にしています。滝学園のいいところは先生が生徒に寄り添ってくれるところです。悩み事を相談すれば親身になって答えてくれたので、生徒のことを第一に思っているのが伝わりました。

佐野さん:さまざまなテストが頻繁に行われていたので、何事も計画的に進めることの大切さを学びました。勉強するときは真剣に、楽しむときは全力で楽しむ空気があるのが、滝学園のいいところ。かけがえのない友人に出会うこともできました。



高3の春の地区大会の個人戦後の写真。個人戦では負けてしまいましたが、この次の週の団体戦で勝ち、県大会に出場することができました！



切磋琢磨しながら
頑張れる友人に
出会えた。

[学校行事]

SCHOOL LIFE

共に学び、ふれあう日々。

体育大会・文化発表会・体験型学習・修学旅行といった学校行事を抜きにして中学校生活を語ることはできません。生徒会が中心となって、全力をあげて準備に取り組む体育大会・文化発表会は本校の一大イベントです。

年間行事

滝学園の教育の柱の一つである集団活動。

1年を通して繰り広げられる学校行事やクラブ活動をはじめ、学校生活のさまざまな場面で人間関係の大切さを実感できる機会を提供し続けます。



4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
入学式 始業式 宿題テスト 新入生 オリエンテーション 土曜講座記念講演会 遠足 面談週間	第1回定期考査 中3修学旅行(九州)	中1授業参観	第2回定期考査 尾北支所 総合体育大会 体験型授業 中1／コミュニケーション プログラム 中2／自然体験学習 中3／グローバルスタディーズ プログラム 中1音楽的行事 終業式	始業式 5日間の通常授業 宿題テスト PTA主催大学進学懇談会	文化発表会 面談週間	体育大会 第3回定期考査	中1美術的行事	第4回定期考査 面談週間 終業式	始業式 スタートアップテスト (到達度確認テスト) 模擬試験(Z会) 球技大会	カルタ大会	第5回定期考査 卒業式 終業式 中3カナダ研修[希望者]



〔クラブ活動〕

CLUB ACTIVITIES

こころの力を育む時間

今後、大学それに続く社会で求められる人間像は単に知識の量を多く持っている人間ではなく、身に付けた知識を活用して自らの周りの環境を主体的に変革できる人間です。そのためには、共同意識や協働性や共感できる力が培われていなければなりません。そのような心や力の育成にクラブ活動が果たす役割は大きいものがあります。滝学園はクラブ活動を大切な教育活動と考えます。

ただ、従来ややもすると「勝利主義」になり、生徒の生活のほとんどがクラブ活動に費やされてしまうというケースもありました。私たちは、学習活動や学校行事やクラブ活動が一人の生徒の中に共存でき、その共存の割合は生徒自らが決定できることが望ましいと考えています。そのため、下校時間は年間を通じて午後5時30分としました。

また、学校休業日などの活動は年間最大60日までとしました。

クラブ活動を通じた海外交流 (過去の実績)



先進技術研究部／ハワイ(2018年3月)



サッカー部／イギリス(2019年3月)



柔道部／ハワイ(2023年3月)



野球部(男子)



バレーボール部(男子)



バレーボール部(女子)



陸上部(男・女)



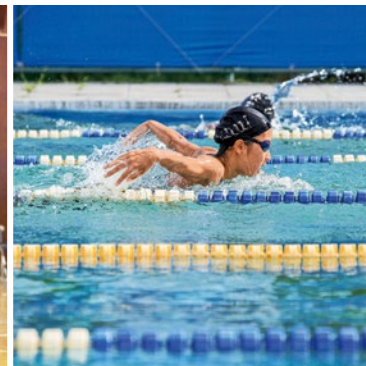
剣道部(男・女)



サッカー部(男子)



ハンドボール部(男子)



水泳部(男・女)



卓球部(男子)



バスケットボール部(男子)



バスケットボール部(女子)



ソフトテニス部(男子)



ソフトテニス部(女子)



柔道部(男・女)



美術部



自然科学部



ブラスバンド部



かるた部



合唱部



英会話部



先進技術研究部



将棋部

[施設・環境] FACILITIES 充実した学校生活のために

本校は、78,000㎡(バンテリンドームのグラウンド面積の約6倍)の広大なキャンパスに充実した学習・運動施設が配置されており、豊かで伸びやかな学校生活を過ごせます。それぞれの校舎は大樹に囲まれ、冷暖房を完備しており、静かな環境の中で落ち着いた授業が繰り広げられています。

また、本館・講堂・図書館は国の登録有形文化財に指定されており、本学の長い歴史を象徴しています。



1 本館



2 講堂



3 図書館



4 中学館



5 高校館



6 100周年記念館



7 特別教室棟西館



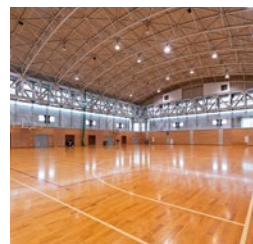
8 特別教室棟東館



9 第1グラウンド



10 第1アリーナ

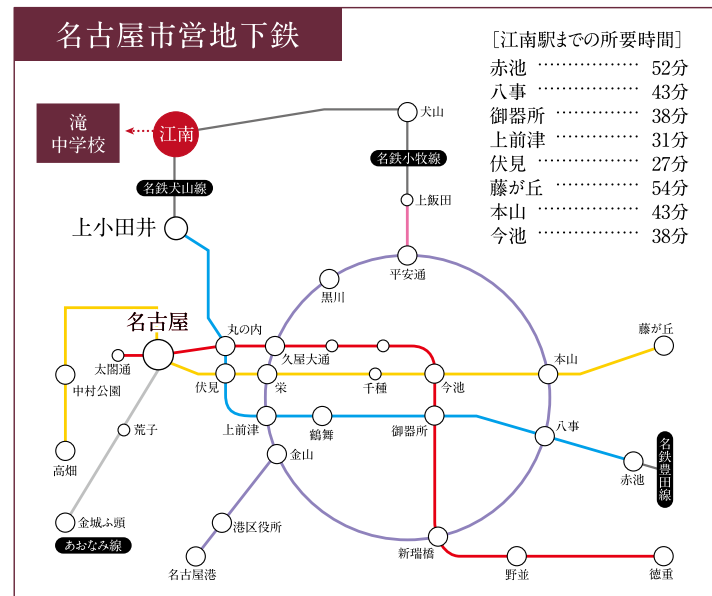
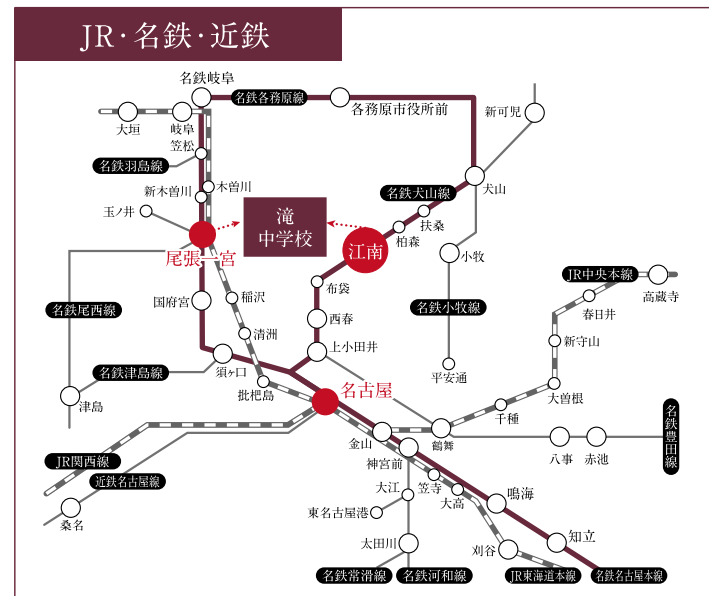


11 第2アリーナ



12 50mプール

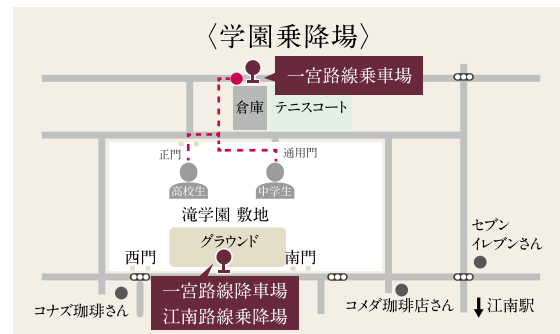
[アクセス] ACCESS 交通のご案内



スクールバス(一宮路線・江南路線)

滝学園では一宮駅と学園を結ぶ「一宮路線」と、江南駅と学園を結ぶ「江南路線」の2系統のスクールバスを運行しています。両駅と学園間を直行で運行します。運行日は授業・土曜講座・行事のある日です。

※令和7年度新入生より利用料金が発生します。



一宮路線

名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅を利用する生徒および駅近隣の生徒はスクールバスを利用することができます。(所要時間40分)

[往路]	一宮駅西口発 7時00分、10分、20分、30分、40分
[復路]	学園前乗車場発 授業後から下校時刻15分後まで運行

〈学園乗降場〉

江南路線

名鉄江南駅を利用する新入生は、必ずスクールバスを利用して通学します。(所要時間8分)

[往路]	江南駅前発 7時10分以降、随時運行
[復路]	学内乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで運行

〈一宮駅乗降場〉

〈江南駅乗降場〉

INFORMATION

学園について

最寄り駅の名鉄江南駅および名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅とは学園敷地内発着のスクールバスで結び、名古屋市をはじめ、愛知県内、岐阜県内の広い地域からのアクセスも良好です。



地域別入学者数(令和6年度)

愛知県(尾張地方)

名古屋市	113人	津島市	1人
一宮市	17人	海部郡	2人
春日井市	4人	尾張旭市	1人
犬山市	4人	日進市	3人
江南市	9人	長久手市	3人
岩倉市	2人	丹羽郡	1人
小牧市	6人	東海市	3人
清須市	1人	大府市	3人
北名古屋市	3人	知多郡	1人
稲沢市	5人		
あま市	1人		

岐阜県

岐阜市	8人	瑞穂市	1人
大垣市	2人	安八郡	1人
多治見市	3人	美濃加茂市	3人
各務原市	5人	可児市	1人
羽島市	1人		

三重県

桑名市 3人

その他

国・私立小学校 19人

愛知県(三河地方)

豊田市	4人	岡崎市	2人
みよし市	1人	安城市	3人
刈谷市	7人	豊川市	1人
碧南市	1人	豊橋市	1人
知立市	1人	田原市	1人

男女共学

男子	142人(56.3%)
女子	110人(43.7%)



【通学者の声】
四日市市から通っており、片道2時間の通学時間を使って学校の課題をしています。スクールバスがあるため通いやすく、助かっています。

安全対策

BLEND

入学時にBLEND(校務支援システム)の保護者アカウントに登録していただきます。警報発令時に緊急下校をする際などにBLENDのメッセージ機能を利用してお知らせします。PC、スマートフォン、タブレットからご利用できます。

スクールバス

登校時と下校時に、江南駅／一宮駅と本校を直通で結ぶスクールバスを運行しています。本校の敷地内から発着するため、バス待ちの時間も多くの目で守られています。

スポーツドクター等

スクールカウンセラーはもとより、スポーツドクターの定期的な検診・相談を受けることができます。

保護者の皆様との連携

すべての保護者の皆様にとって、生徒諸君がどのような学校生活を過ごしているかということは最大の関心事だと思われます。本校では、生徒諸君の学校生活の様子を、いち早く、詳しく、保護者の皆様にご覧いただくために、学年通信をはじめ、進路学習指導部・生活指導部・保健室等からの「通信」を発行し、保護者の皆様との連携に努めています。また、学級別懇談会(個人面談)、学年懇談会、進学説明会など学校と保護者の皆様との情報交換の機会を設けています。

進化を続ける滝学園



TOPIC 1

生まれ変わった制服

2026年の創立100周年に向けて、2024年春、「個の尊重」をテーマにした制服が生まれました。生徒会考案のキャッチコピーは、「袖を通せ、新時代に」。ジェンダーレスが当たり前となった現在。生徒各自が自分の着たい制服を選択して着用し、生徒同士がその選択をお互いに尊重して認め合うことが本当の意味での平等である、という思いを新制服に込めました。

制服のメインカラーは、滝学園生が進む素晴らしい未来を予感させる、爽やかさと唯一無二の個性を表現した「Future Blue」。男女ともにスーツスタイルを採用し、ネクタイ・リボンの色は生徒アンケートで決定したネイビーベースとエンジベースに。スラックス・スカートから選択可能です。

ボタン

校章デザインのオリジナルボタン



ベスト・カーディガン

デザインは生徒アンケートで決定しました。



ネクタイ・リボン

中学校:エンジベース
高校:ネイビーベース



TOPIC 2

100周年記念館を新設

登録有形文化財である講堂と対をなす形で100周年記念館が位置することにより、歴史と未来を象徴しています。1階は高校の職員室、2階は国際交流をはじめSTEAM教育など新しい教育を実践する施設として利用されます。





次の100年の、扉を開く。



学校法人滝学園は、2026年に創立100周年を迎えます。

1926年、実業高校から始まった本学園の歴史は、変化し続ける時代の中で変化に対応し、変化を先取りした歩みを着実に重ねてきました。

あるべき学校とは、Well being(よく生きる)を実現し、かつ社会に貢献できる生徒を育成できる学校です。

本学園はこれから迎える100年、さらにその先の100年を見据え、

「社会・時代の要請に柔軟に対応できる生徒育成のエキスパート」を目指し、教育活動を行っています。

さまざまな希望に向かって切磋琢磨する生徒・学生の

“未来の扉を開く”ことを使命に、滝学園はこれからも進み続けます。

HISTORY OF TAKI GAKUEN 本学の歩み

- 1926(大正15年) 4月 滝実業学校創立(商業部・農業部)
- 1947(昭和22年) 4月 滝中学校併設
- 1948(昭和23年) 4月 滝高等学校設置
- 1949(昭和24年) 4月 普通科を開設し、男女共学校となる
- 1964(昭和39年) 4月 滝高等学校に名称変更
- 1967(昭和42年) 4月 畜産園芸科(農業科)募集停止
- 1998(平成10年) 4月 商業科募集停止
- 2000(平成12年) 4月 滝中学校と滝高等学校普通科のみの中高一貫校となる



MESSAGE ご挨拶



滝学園は、地域の文化の向上に役立てることを目的に、実業学校として始まりました。時代の変化に合わせて、大学進学を見据えた教育へと変化させ、生徒が希望の進路を叶えることのできる学校へと育てることができました。学校とは学習をする場所です。知識や経験を得るところから始まるのですが、それをいかに自分のものにするかが大事です。そして、自分で考え、自分で行動することのできる人へと導くのが学校の役目。将来、一人ひとりがそれぞれの分野で自分のしたいことをできるよう、そんな意志のある人を育てていきたいと考えています。

学校法人 滝学園 理事長 滝 富夫

